

平成24年度事業評価システムの事後評価結果について

H25.10.24

財 政 課

かほく市では、市の行財政運営を評価し、合理的で効率的な行財政運営を実現するため事業評価システムを平成21年度の事務事業から実施しています。今般、平成24年度における事後評価の結果について、目標の達成度及び総合計画の施策体系別にとりまとめましたので報告します。

■ 総 括 ■

目標の達成度及び次年度の取り組みの方向性については以下のとおりです。

(1) 目標値の達成(成果)度

対象事業: 180 事業	概ね目標値を達成できた事業	160事業
	(目標値の達成度 80%以上の事業)	
	目標値を達成できなかった事業	20事業
	(目標値の達成度 80%未満の事業)	

(2) 方向性の状況

- ・改善、拡充 69事業
(事業は継続し、事務改善や制度内容を拡充していく事業)
- ・継続 107事業
(これまでと同様に事業を継続していく事業)
- ・縮小、終了、廃止 4事業
(事業の縮小や制度自体が終了若しくは建設事業等で平成24年度完了した事業)

(3) 総合計画の施策体系別状況

総合計画の7つの施策体系に分類して状況を表示

〈総合計画の施策体系別結果表〉

(単位: 件、%)

総合計画の 施策体系	区 分	方向性			計	目標値 達成度
		改善・ 拡充	継続	縮小・ 終了・ 廃止		
1. 健康・福祉	概ね目標達成	40	49	3	92	88%
	目標未達成	4	8	0	12	12%
	計	44	57	3	104	
2. 教育・文化	概ね目標達成	9	15	0	24	96%
	目標未達成	1	0	0	1	4%
	計	10	15	0	25	
3. 生活環境	概ね目標達成	2	17	0	19	86%
	目標未達成	1	2	0	3	14%
	計	3	19	0	22	
4. 都市基盤	概ね目標達成	3	3	0	6	100%
	目標未達成	0	0	0	0	0%
	計	3	3	0	6	
5. 産業振興	概ね目標達成	2	7	0	9	90%
	目標未達成	1	0	0	1	10%
	計	3	7	0	10	
6. 住民参加・連 携・交流	概ね目標達成	1	2	1	4	80%
	目標未達成	1	0	0	1	20%
	計	2	2	1	5	
7. 行政運営	概ね目標達成	3	3	0	6	75%
	目標未達成	1	1	0	2	25%
	計	4	4	0	8	
計	概ね目標達成	60	96	4	160	89%
	目標未達成	9	11	0	20	11%
	計	69	107	4	180	

■総合計画の体系による結果分析■

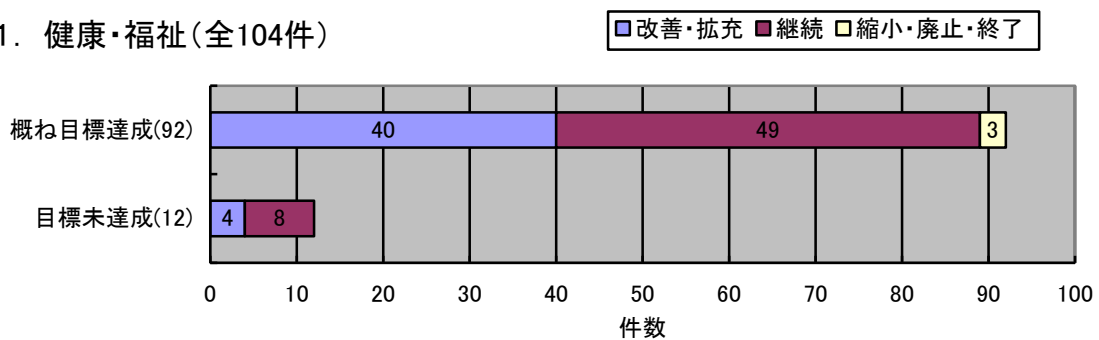
1. 健康・福祉

「健康・福祉」の分野では、子育て環境の充実として、大崎子育て支援センターを宇ノ気生涯学習センターに移転し、開所日・開所時間を拡充しました。さらに、七塚南部保育園(しらゆり保育園)、七塚北部統合保育園(はまなす保育園)及び宇ノ気南部統合保育園(みずべ保育園)の建設など、子育て支援の充実に重点的に取り組みました。

健康づくりの推進としては、市民100日健康・体力づくり事業に加え、健診受診キャンペーン、食育レシピコンクール等を実施しました。また、ロタウィルス予防接種の追加など予防接種事業の拡充、不妊不育治療費助成など、検診、医療体制の充実にも取り組みました。

「健康・福祉」の評価結果

1. 健康・福祉(全104件)



事後評価の結果としては、全104事業のうち概ね目標を達成できた割合は88%となり、特に不妊不育治療費助成事業、地域介護予防活動支援事業及び子育て支援センター事業については、実績値が目標値を大きく超え、健康づくり事業や食生活改善事業でも100%を超えるなどの成果が得られました。

一方、学童保育管理運営事業においては、保護者満足度が目標値には達しなかったほか、児童館管理運営事業では利用児童数が目標値に達しませんでした。今後、利用者のニーズを分析しサービスの充実に努めていきます。

平成24年度の実施状況等を勘案し、平成25年度はファミリーサポートセンター利用日の拡充、外日角学童保育クラブの2クラブ化や多子世帯の学童保育料の軽減など学童保育を拡充し、子育て環境の充実を図ります。また、健康相談や健康教育を実践するコミュニティカフェの開設、ウォーキングマップの作成など、地域での健康なまちづくり事業を展開します。

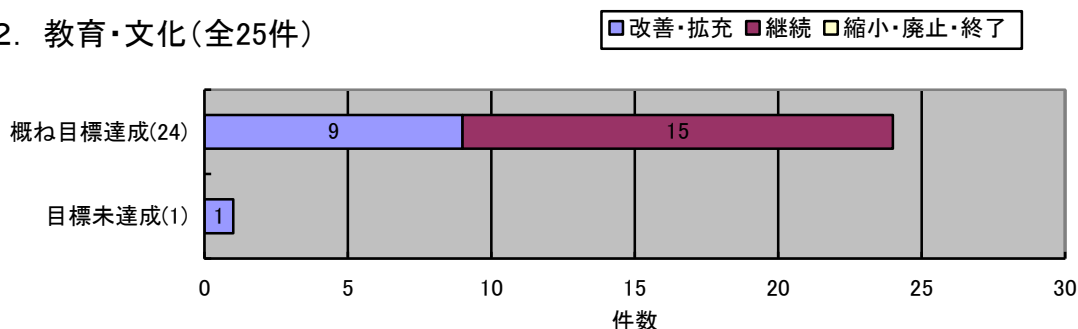
2. 教育・文化

「教育・文化」の分野では、市民滞在型図書館として中央図書館を開館するとともに、高松、宇ノ気に図書館補完施設を開館しました。また、学級支援教育体制の充実として特別支援員の増員を行い、スクールバス運行範囲を拡大しました。

さらに、教育環境の充実対策として金津小学校、高松中学校のパソコン教室の整備や高松中学校部室棟の整備を実施しました。

「教育・文化」の評価結果

2. 教育・文化(全25件)



事後評価の結果としては、全25事業のうち概ね目標を達成できた割合は96%となりました。心の相談員配置事業や学校図書館配置事業では、どちらも利用率が高く、目標評価点を大きく上回りました。各小中学校の教育振興事業においても学校教育目標の達成度が目標値を概ね達成している状況にあります。

また、生涯学習センター管理運営事業や公民館管理運営事業についても、各種事業の企画展開により、参加意識の向上につながりました。

平成25年度は、市独自に5学年の35人以下学級の導入、学校防災マニュアルの作成、市民大学講座の開講など教育環境の整備充実を図ります。

施設についても給食センターの設備やスクールバスの更新、アクロス高松及び西田幾多郎記念哲学館の長寿命化計画の策定、体育施設への利用料金制の導入など、将来に向けた効率的な施設管理に取り組みます。

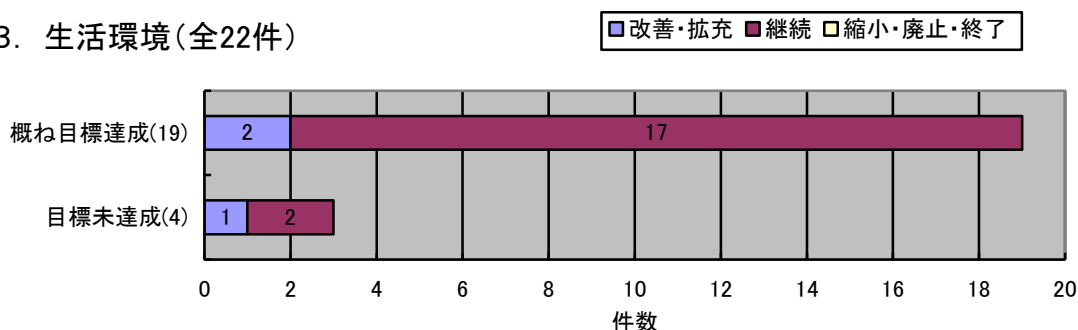
3. 生活環境

「生活環境」の分野では、地域防災計画の見直し、自主防災リーダーの養成、安定ヨウ素剤の備蓄など主に防災対策の強化に重点を置き取り組みました。地区公民館の耐震化や海拔標示板の設置、防災広場の整備に加え、水道施設の耐震化、下水道施設の耐震診断や耐震化基礎調査など、施設の機能向上を図りました。

また、環境への配慮として、再生可能エネルギー導入検討調査の実施や地域環境ポイント制度の拡充、太陽光発電システム設置補助の充実を図りました。

「生活環境」の評価結果

3. 生活環境(全22件)



事後評価の結果としては、全22事業のうち概ね目標を達成できた割合は86%となりました。危機対策事業では、防災意識の高まりにより各地区の自主防災組織化率が昨年に引き続き目標値を上回る結果となりました。ごみ減量化推進事業及び塵芥収集事業については、いずれもゴミ処理量の減少量について目標値を達成することが出来ませんでした。今後も、拠点回収や分別意識の普及・啓発等に努めていく必要があります。

一方、救急救命業務では、救急要請が重なる事案が増加しており、救急車両の現場到達率が目標値に達しませんでした。到着時間の短縮のため、より一層の体制充実、迅速な対応に努めていきます。

平成25年度は、消防救急無線のデジタル化や学校施設非構造部材の耐震化の実施、緊急車両の更新など防災施設、設備等の充実のほか、学校防災マニュアルの作成、自主防災組織の活動支援など防災体制の強化を図ります。また、再生可能エネルギーを活用した照明設備の整備に加え、再生可能エネルギーを活用した設備の設置補助、地域環境ポイント制度の拡充など、より一層の環境保全に取り組みます。

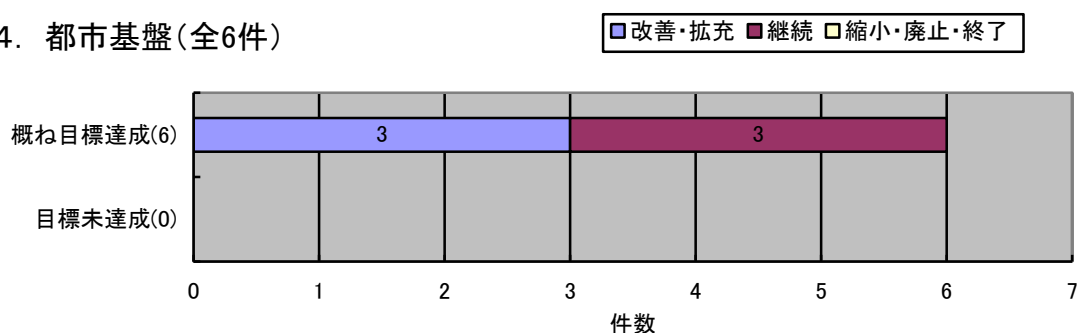
4. 都市基盤

「都市基盤」の分野では、県の合併支援道路に関連した市道宇気23号線の道路整備に引き続き取り組むとともに、雪みち対策として消雪装置の設置及び更新や除雪車の購入のほか、地区要望に対応した生活支援道路の整備に取り組みました。

さらに、定住促進と地域活性化への取り組みとして、「若者マイホーム取得奨励金」や「新婚さん住まい応援事業」、「出会いサポート支援事業」のほか、交流機会の創造として、食と農業の体験ツアーや観光写真コンクールなどを実施しました。

「都市基盤」の評価結果

4. 都市基盤(全6件)



事後評価の結果としては、6事業全てにおいて概ね目標を達成できており、特に道路維持管理事業では、目標評価点を大きく上回りました。これは、道路や側溝等の修繕に関する各地区の要望に積極的に対応した結果であり、今後も地区要望に対しては迅速に対応していきます。

また、ケーブルテレビ事業については、目標加入世帯数に若干届かなかったものの、加入数は着実に増加する傾向にあります。

一方、地籍調査事業は対象エリアを年次計画により実施しており、今後も着実な計画のもと、目標達成に向け効率よく事業を実施していきます。

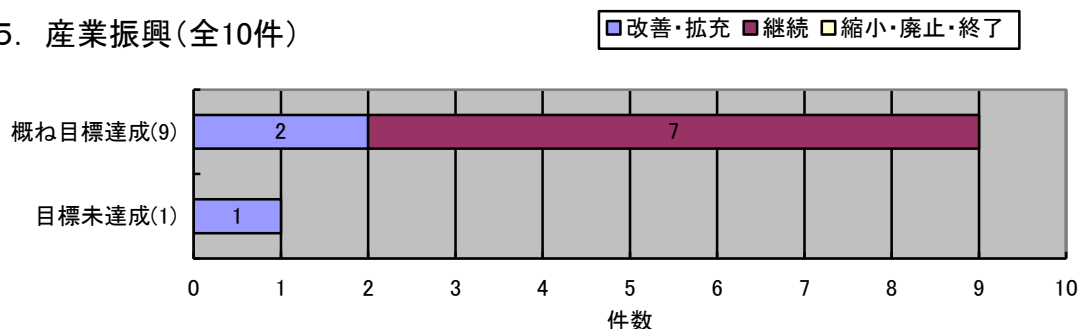
平成25年度の取り組みとしては、市民生活に直結した生活関連道路の維持および冬期の交通網の確保のための消雪施設整備などについて、適切に実施します。また、「若者マイホーム取得奨励金」、「木の家づくり奨励金」などの定住促進策についても引き続き実施します。

5. 産業振興

「産業振興」の分野では、創業者支援事業補助制度や第2期地域農産物ブランド化事業の継続のほか、地域が共同して地域資源を活用、保全する農地・水環境保全向上事業や担い手育成を含めた土地改良関連事業にも積極的に取り組みました。

「産業振興」の評価結果

5. 産業振興(全10件)



事後評価の結果としては、全10事業のうち概ね目標を達成できた割合は90%となりました。

商工業関連では、商工業振興対策事業において、創業者支援事業補助制度など市独自の制度利用事業所数が目標値を上回りました。また、観光イベント事業や観光振興対策事業についても、にゃんたろうパペット人形の作成、観光ガイドブック、リーフレットの増刷、かほく市体験ツアーなどの積極的な情報発信により成果を上げることができました。今後も観光大使「にゃんたろう」を積極的に活用することにより、かほく市の魅力を市内外に発信し更なる観光の振興を図ります。

一方、農業関連では、地域農産物ブランド化事業については、新たな商標登録は無く目標は達成できませんでしたが、今後は現状の把握に努め、産地間競争に負けないシェアの確保、経営強化、ブランド化を図ります。

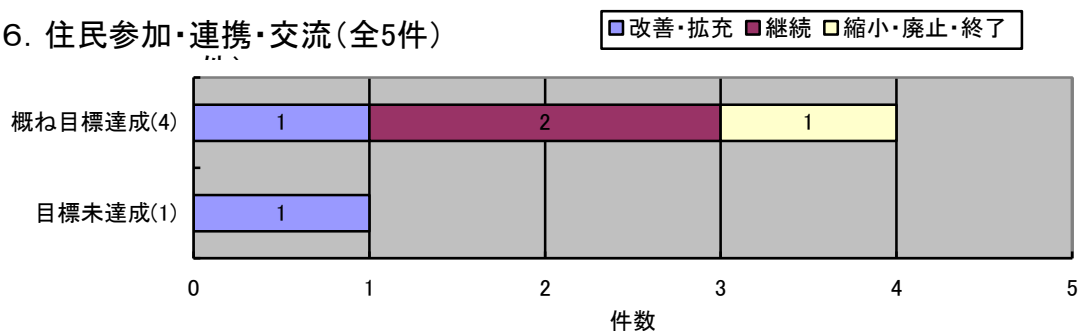
さらに、平成25年度以降は、北陸新幹線開業に向け、特産品開発支援補助金の創設などかほく市としての独自の取り組みを創出し、官民で一体的な地域の活性化に取り組んでいきます。

6. 住民参加・連携・交流

「住民参加・連携・交流」の分野では、各地域の自主的な交流事業、ボランティア活動に自治振興補助金を支給し、各活動への側面的な支援を行いました。また、各地域活動の拠点となる施設の効率的な管理にも努めました。

「住民参加・連携・交流」の評価結果

6. 住民参加・連携・交流(全5件)



事後評価の結果としては、全5事業のうち概ね目標を達成できた割合は80%となり、七塚健康福祉センター、保健福祉センター(ほのぼの健康館)、高松女性センター、総合交流促進施設(うみっこらんど)の各施設において、施設利用件数の目標を達成することができました。

一方、男女共同参画社会推進事業においては、講座参加者の理解率が目標値に達しませんでした。これまで実施してきた広報活動のほか、男女共同参画への理解を深めるための新たな啓発講座を開催することとしています。

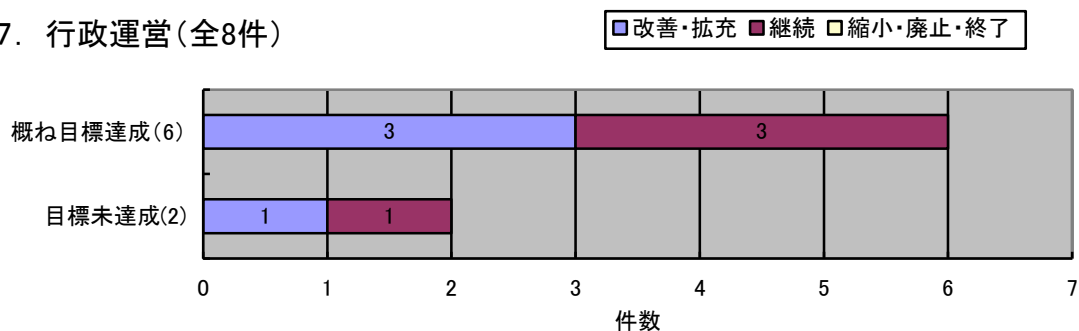
さらに、平成25年度以降は地域活動助成金の創設、地域づくりリーダーの育成などにより地域活動の活性化を推進していきます。

7. 行政運営

「行政運営」の分野では、第2次行政改革大綱の推進項目65項目中50項目が目標に達し、達成率が76.9%となりました。各項目に対する細部にわたる項目についても関係各課のヒアリング調査により数値的な効果を検証しました。

「行政運営」の評価結果

7. 行政運営(全8件)



事後評価の結果としては、8事業のうち概ね目標を達成できた割合は75%となりました。議会広報事業については議会・委員会の傍聴者数を指標としており、達成率は72.8%となっていますが、議会だよりの発行やケーブルテレビでの中継などを通じて議会活動の周知に努めています。また、市職員の研修事業では、電話対応や住民等への説明スキルの向上に関する研修を実施し、高い理解度が得られました。

さらに、平成25年度以降についても、再編した各公共施設の管理運営について、効率的な運用による経費の縮減に努めるなど、積極的に行政改革に取り組んでいきます。